

<水球陣>関東学生リーグ第6戦

H27.5.31 対国際武道大 @所沢プール

東大 2 4 1 3 計10

国武大 1 3 1 2 計7

得点者：浪間(8)、藤目(2)

今回の学生リーグでは、順調に勝利を重ねてきたが、予選を1位で通過してインカレ本戦への出場権を得るためには、国際武道大学は強い相手ではあるが絶対に負けられない一戦。絶対に勝つのだと気合いを入れて試合に臨む。

第1ピリオド

試合開始直後、パスミスによって失点し、いきなり東大はビハインドから相手を追いかける展開に追い込まれる。しかし、すぐに浪間がシュートを決め、同点に追いつくと、浪間が相手の退水を誘発してできた相手のディフェンスの隙を突き、藤目が決めて連続得点で逆転に成功する。その後は互いにチャンスを作るが、得点には結びつかず、東大の1点リードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオド

序盤警戒していた個人技で失点するが、浪間が退水を誘発してできたチャンスを自分で決めて再びリードを奪う。そして、退水で失点したが、すぐに浪間のフリースローシュートで点を取り返す点の取り合いになる。ピリオドの後半にも相手の個人技で失点したが、全員でしっかり守りきった後のカウンターでシュートを決め、終盤にはさらに1点を取り、このピリオドでもリードして終える。

第3ピリオド

退水を取られてそのピンチを守りきれず失点したが、その後退水の誘発によって得たチャンスを生かして1点取り返す。後半に入り、退水を取られた時にタイムアウトを取られたが、そのピンチを守りきった。そして、このまま互いに得点を取ることなく1対1のままピリオドを終える。

第4ピリオド

序盤から個人の力量の勝る相手に押し込まれる展開が続き、何度もピンチを作られたが、守護神疋田を中心に守る。互いに1点を取り合い、何度も東大が絶望的なピンチを守りきると、次第に相手のミスが目立つようになり、浪間が連続得点を決め、相手を突き放す。そのまま試合は終了し、東大の勝利に終わった。

関東学生リーグを1位で終え、インカレ本戦の出場権を得るために負けられることのできない一戦で勝つことができたが、まだ関東学生リーグの期間中なので、気を抜かずに一戦一戦勝っていく必要がある。最後になりましたが、監督をしてくださった下東さん、試合を観に来てくださった林さん、吉田さん、轟さん本当にありがとうございました。

(文責 有松大輔)